

Simplex Inc.

シンプレクス株式会社

ユーザープロフィール

シンプレクス株式会社

本社：東京都港区

創業：1997年9月16日

資本金：47億7,800万円

売上高：176億3,400万円
(2015年3月期)従業員数：650名
(2015年3月31日現在)事業内容：金融機関の収益業務に関わる
システムのコンサルティング業
務、システム開発業務、保守・
運用業務<http://www.simplex.ne.jp/>

customer success

保守時のリグレッションテスト、人手に頼らず結果を出すには？
金融ITのリーディングカンパニー シンプレクスは、テスト自動化ツール Silk Test を選択。

The company

シンプレクス株式会社は、金融機関の収益業務およびリスク管理業務に特化した独自開発のITソリューションを展開するソフトウェアベンダーです。

最先端の金融工学やトレーディング業務構築ノウハウといった豊富な金融業務知識と最先端の技術により、業務コンサルティングからITコンサルティング、システム・デリバリー、保守まで包括的なワンストップサービスを提供しており、これまで、メガバンクを始めとした数多くの大手金融機関のトレーディングシステムやリスク管理システムから、国内でNo.1のシェアを誇る個人投資家向けFX取引システムソリューションまで、幅広い実績があります。

また、IDC Financial Insightsによる「2015 FinTech Rankings(フィンテック・ランキングス)」では同社は世界トップ100にランキングしています。

The challenge

同社キャピタル・マーケットソリューショングループは、大手銀行、証券会社向けのサービス提供を担う部門で、メガバンクなど数多くの大手金融機関で採用されている先進的なトレーディング/リスク管理パッケージシステムである「SimplexPRISM」の導入を主に手がけています。

同グループでは、システム導入時のテスト工程における反復作業の効率化を目指していました。システムの特性上、膨大な量のテストが必要で、システムの新規リリース、保守も見据えて作業を効率化する計画に取り組んできました。シンプレクス株式会社 キャピタル・マーケットソリューショングループ シニアスタッフ 青江啓明氏は、次のように語ります。

「機能追加や仕様変更などでシステムに変化が生じると、変更部分とともに、これを起因とする性能低下を防ぐためリグレッションテストを実施する必要があります。手動による打鍵やテストデータの準備など繰り返し作業になることを考慮すると、導入時から自動化の取り組みを進めることが

最善と考えてきました。」

人間の作業スピードには限界があるため、自動化を推進することで、同社ならではの高い基準でテストカバレッジを広げながらも、迅速にテストを行える体制を整備したいと考えました。

The solution

そこで同社は、テスト工程のうち、リグレッションテスト部分にテスト自動化を導入することを考えました。

それでは、どのようなテスト自動化ツールを導入するか。2013年、同グループは調査を開始しました。選定を進める上で最も重要視した要件は、「SimplexPRISM」がリッチクライアントシステムであることから、テスト自動化ツールがこれにきちんと対応していることでした。

そして3つの候補製品を挙げ、比較検討した結果、マイクロフォーカスの提供する Silk Test が浮上します。同グループは Silk Test のハンズオンセミナーにも参加し、実際の操作感も確認、最終的に Silk Test を採用します。青江氏は選択の理由を次のように語ります。

「リッチクライアントシステムへの対応が最も優れていたのが最大のポイントでした。また、サポート体制もしっかりしていて、問い合わせや質問にレスポンスよく対応してくれそうだと確信できました」

また、テスト資産やノウハウの属人化を防ぎ、それを同社全体で共有するためのプラットフォームにしたいと考えました。このテスト自動化ツールは同グループにおけるテスト標準化、質の向上・効率化、低コスト化の原動力になると判断されました。

The result

同年4月、同グループは Silk Test の利用を開始し、可能な限りテストを自動化することをめざしました。その結果、リグレッションテストの大部分を自動化することに成功しました。この成功により、従来実施していた高いテスト品質を維持しながらも、大幅なテスト工数の削減が可能となりました。

テスト自動化によりテスト資産・ノウハウの属人化を排除 ツール利用でテストの標準化、効率化、低コスト化を実現

また、特定の担当者に依存せずにテストが実施できるようになったため、テスト資産やノウハウの属人化を排除するとともに、テスト構築化、質の向上、効率化を図るという当初の目的を達成することができました。

キャピタル・マーケットソリューショングループでのこの成功を聞いて、今度はリテールソリューショングループが Silk Test 導入に動きます。同グループはFX(外国為替証拠金取引)システムを提供しており、そのチャネルは Web アプリケーション、モバイルアプリケーション、リッチクライアントシステムと広く、Web ブラウザの種類や顧客の数なども含めると、常に約 40 のシステムを同時に保守していました。また、機能追加も頻繁で、月に 2 回、多いときは 4 回、アップデートリリースを行っていました。過去にはオープンソースのテスト自動化ツールをリグレッションテストに利用したこともありましたが、期待値を超える成果は見出せませんでした。シンプレクス株式会社 リテールソリューショングループ プリンシパル 土屋正樹氏は、Silk Test 採用の理由を次のように語ります。

「この製品が Web アプリケーション、リッチクライアントの両方に対応するとともに、すでにキャピタル・マーケットソリューショングループで実績があり、ツールにテストノウハウが蓄積されつつあったので、これを活用したいと考えました」

同グループではまず、リテール向けの為替トレーディングシステムのアプリケーション起動後の定型

確認作業を自動化の対象に定め、Silk Test を活用し始めました。それにより、リリース作業時のエンジニア拘束時間は従来の 1/3 に、対応人数も 1/3 に削減できました。工数ベースでは従来比 1/9 という結果となっています。

もう一つの対象は同じシステムのリグレッションテストです。シンプレクス株式会社 リテールソリューショングループ プロフェッショナル 前谷内啓貴氏はこう語ります。

「テスト実行中に張り付いている必要がなくなったので、従来 2、3人で 2 週間ぐらいかかっていたリグレッションテストが、1人でも 2、3日で終了するようになりました。このツールは、一時間ぐらいレクチャーすれば誰でも使いこなせるようになるのが魅力だと思います。これによって開発者がテストに関わるのを極力回避し、自らのバリューを発揮できる業務に没頭できるようになりました」

この成果の輪はさらに広がっており、リテールソリューショングループでは新たに 2 つのプロジェクトで Silk Test の導入が決定しています。また、端緒を開いたキャピタル・マーケットソリューショングループでは、テストスクリプトを半自動的に作成、それを全社規模で共有するプロジェクトを進めています。

開発スピードとプログラム品質を同時に追求するシンプレクスが選択したのは、Silk Test という「結果を出す」テスト自動化ツールでした。

TEL:03-5413-4770
<http://www.microfocus.co.jp/>



(左から)
シンプレクス株式会社
リテールソリューショングループ
プロフェッショナル 前谷内 啓貴氏
リテールソリューショングループ
プリンシパル 土屋 正樹氏
キャピタル・マーケットソリューショングループ
シニアスタッフ 青江 啓明氏

マイクロフォーカス株式会社
〒106-0032 東京都港区六本木7-18-18
住友不動産六本木通ビル9階

※記載の会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。
本ユーザー事例の内容は2016年2月に作成したものです。